

平成30年 9月21日

上大津西小学校の保護者の皆様
上大津西小学校区にお住まいの皆様

土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会
委員長 樋口 直宏

上大津地区小学校適正配置に係る
上大津西小学校の暫定的な対応に関するアンケートのお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、土浦市教育委員会では、少子化に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、子供達にとって、よりよい教育環境の整備と学校教育の充実を図るため、平成25年2月に「土浦市立小学校適正配置実施計画」を策定いたしました。

本計画に基づき、昨年11月に、「土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会」を設置し、現在、上大津地区小学校の適正配置に向けた具体的な協議を進めております。その協議の中で、上大津西小学校の複式学級（異なる2つの学年が1つの教室で同時に授業を行う）などの問題については、できるだけ早期に解消すべきとの提案が出ており、この暫定的な対応についての協議を進めるに当たり、地域の皆様の意向を把握するため、上大津西小学校の保護者の皆様及び上大津西小学校区にお住まい皆様（全世帯）を対象に、アンケート調査を実施することといたしました。

皆様におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、よろしく願いいたします。

※別紙資料として、本市における適正配置に関する資料を同封いたしましたので、アンケートにお答えいただく際の参考としてご覧ください。

<お問い合わせ先>

〒300-0036

土浦市大和町9番2号 ウララⅡ 7階

土浦市教育委員会 学務課 学事係

TEL 029-826-1111（内線5112）

学校の適正配置とは？

⇒ 子供達にとってよりよい教育環境の整備と学校教育の充実を図るため、隣接する学校との統合や学校の再編成・新設、通学区域（学区）の見直しなどにより、以下の基本方針に基づいて学校を配置し直すことです。

1 土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針（平成23年2月策定）の概要

子供達にとってよりよい教育環境の整備と学校環境の充実を図るため、本市における今後の学校規模の適正化と適正配置のあり方について、基本的な考え方をまとめました。

（1）学校の適正規模の考え方

小学校

全学年でクラス替えやグループ学習などの充実を図ることができ、学年に複数の教員が配置できる12学級以上（1学年2学級以上）が望ましい。

なお、統合を考える場合は、学校施設の使用に支障をきたさず、教員と児童の関わりを良好に保つことができる24学級以下を目安とする。

⇒ 12学級以上（1学年2学級以上） 24学級以下

中学校

小学校の考え方とほぼ同様に、中学校では教科担任制となるため、教員配置の面から主要5教科に複数の教員が配置でき、全教科専任教員が配置できる9学級以上（1学年3学級以上）が望ましい。

なお、統合を考える場合は18学級以下を目安とする。

⇒ 9学級以上（1学年3学級以上） 18学級以下

■小学校の学校規模別にみるメリット・デメリット

【12学級未満】

- ・児童一人ひとりと教師のコミュニケーションがよく図られる。
- ・家庭的な雰囲気の中で勉強ができる。
- ・上級生と下級生の学年を越えた仲間意識が強くなる。 等

メリ
ット

【12学級以上】

- ・勉強、スポーツ等でお互いに切磋琢磨することができる。
- ・クラス替えにより、新たな価値観や人間関係が築きやすい。
- ・多人数での団体競技、合唱、学校行事などができる。 等

- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
- ・クラス替えができず、役割や人間関係が固定化する。
- ・多人数での団体競技、合唱、学校行事などが難しい。 等

デ
メリ
ット

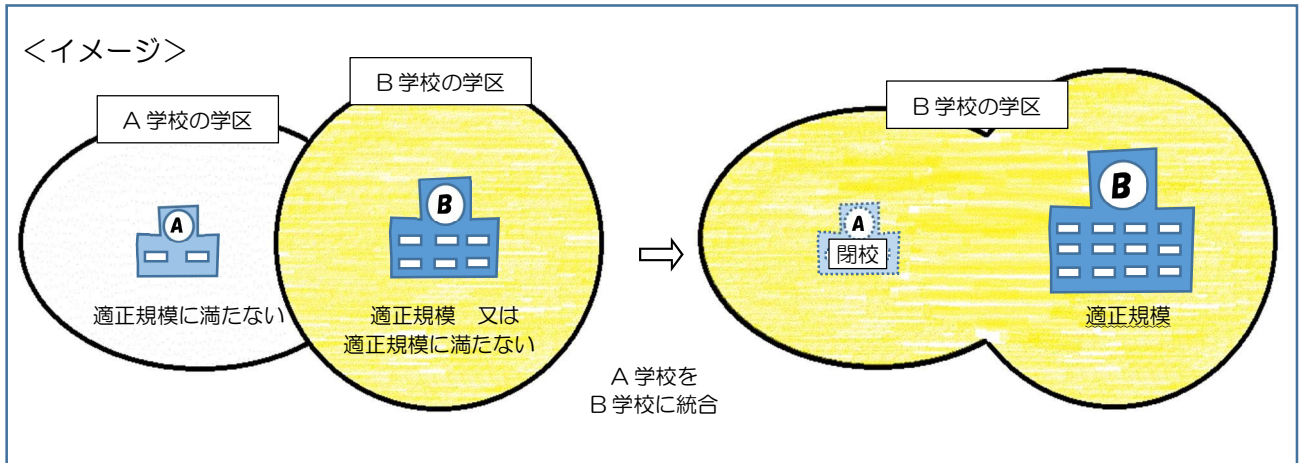
- ・児童一人ひとりに目が行き届きにくい。
- ・一人あたりの活躍の場が少なくなる。
- ・学年を越えての交流や一体感が生まれにくい。 等

※裏面にも記載がございます

(2) 学校の適正規模・適正配置の方法

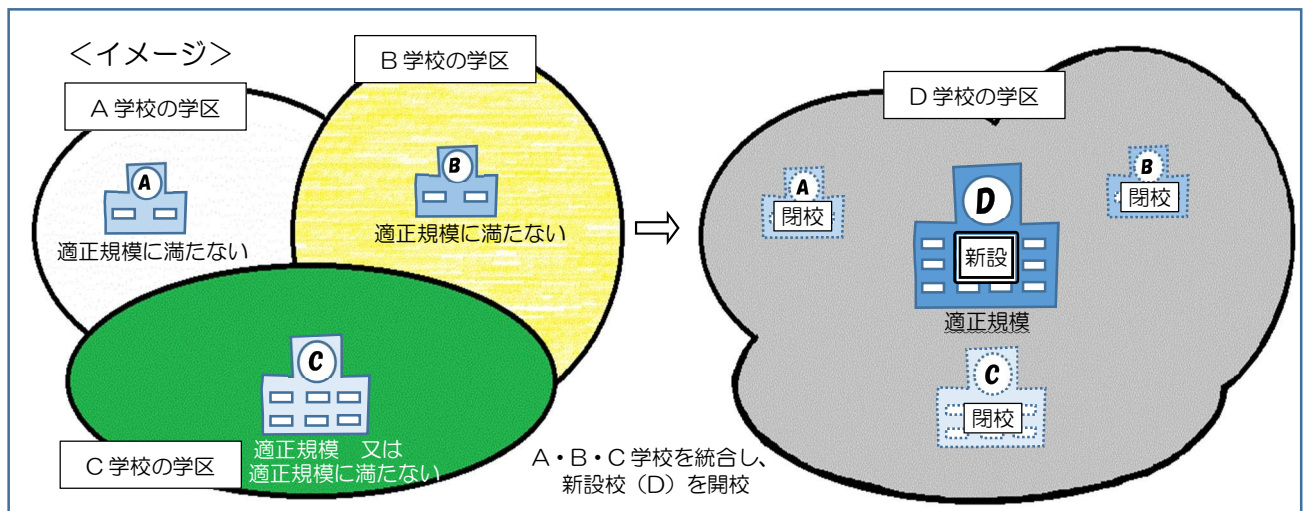
① 隣接する学校との統合

⇒適正規模に満たない学校を、隣接している学校に統合する。



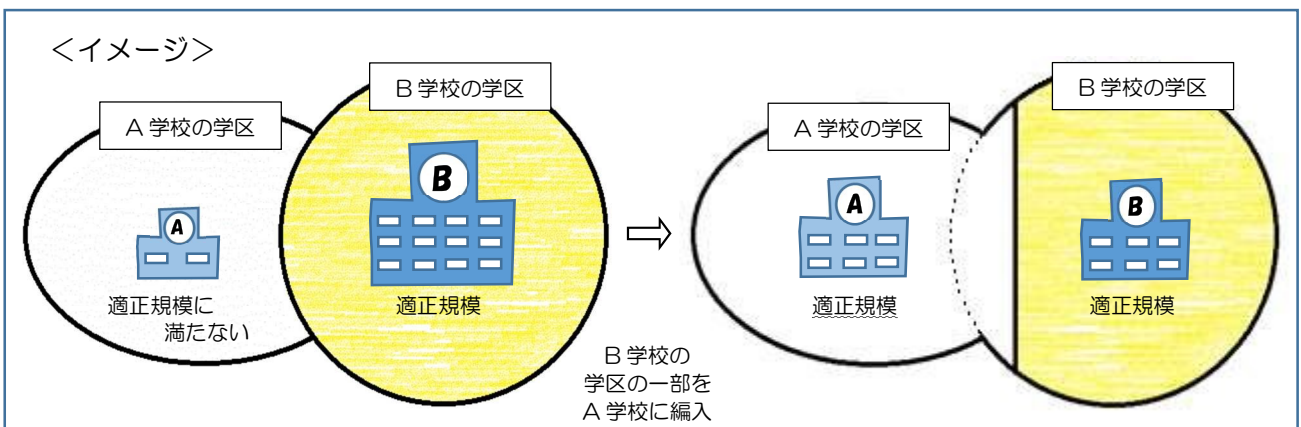
② 学校の再編成・新設

⇒隣接する適正規模に満たない学校などが複数ある場合、新規の学校用地などに学校を再編成・新設する。



③ 通学区域（学区）の見直し

⇒適正規模を満たす学校の通学区域の一部を、隣接する適正規模に満たない学校の通学区域に編入する。



2 土浦市立小学校適正配置実施計画（平成25年2月策定）の概要

基本方針に基づき、適正規模を満たさない小学校で、今後も児童数の減少傾向が続くと見込まれる地区について、適正配置の進め方を示しました。

(1) 宍塚地区（宍塚小学校）

⇒学区が隣接し、同じ土浦第一中学校の通学区域内にある土浦小学校に平成26年4月に統合する。 ⇒ 平成26年4月に土浦小学校に統合

(2) 新治地区（藤沢小学校、斗利出小学校、山ノ荘小学校）

⇒適正規模に満たない3小学校を一つにまとめ、新治中学校敷地内に施設一体型の小中一貫校を設置する。 ⇒ 平成30年4月に新治学園義務教育学校を設置

(3) 上大津地区（上大津西小学校、菅谷小学校）

⇒住宅地の造成や病院の開業等により、地域の状況変化予測が困難なことから、児童数の推移等を注視しつつ、引き続き検討を行うこととした。

⇒ 実施計画策定以降、保護者や地域住民との協議を一旦中断し、平成29年度より協議を再開

3 上大津地区小学校の施設状況等一覧

学校名		上大津西小	菅谷小	上大津東小	神立小	
創立年月		明治25年11月	昭和61年4月	明治22年6月	昭和50年4月	
建築年月	主な校舎	昭和49年3月	昭和61年3月	昭和53年3月	昭和49年10月	
	体育館	昭和57年3月	昭和61年3月	昭和57年1月	昭和54年10月	
	プール	昭和46年7月	昭和61年7月	昭和44年7月	昭和50年7月	
校地面積	合計	12,509 m ²	28,439 m ²	12,367 m ²	32,118 m ²	
各施設等の面積	校舎	2,267 m ²	3,576 m ²	3,037 m ²	4,386 m ²	
	体育館	794 m ²	794 m ²	794 m ²	976 m ²	
	校庭	8,139 m ²	16,600 m ²	6,228 m ²	25,664 m ²	
普通教室数	通常学級の教室として使用可能な教室数	7教室	10教室	13教室※ ¹	18教室	
H30.5.1時点の学級数	全学級数	6学級	8学級	13学級	19学級	
	内訳	通常学級	6学級	6学級	10学級	13学級
		特別支援学級	なし	2学級	3学級	6学級
H30.5.1時点の児童数	全児童数	48人	152人	305人	468人	
	内訳	通常学級	48人	144人	288人	432人
		特別支援学級	0人	8人	17人	36人

児童一人あたりの面積	校舎	47 m ² /人	24 m ² /人	10 m ² /人	9 m ² /人
	体育館	17 m ² /人	5 m ² /人	3 m ² /人	2 m ² /人
	校庭	170 m ² /人	109 m ² /人	20 m ² /人	55 m ² /人

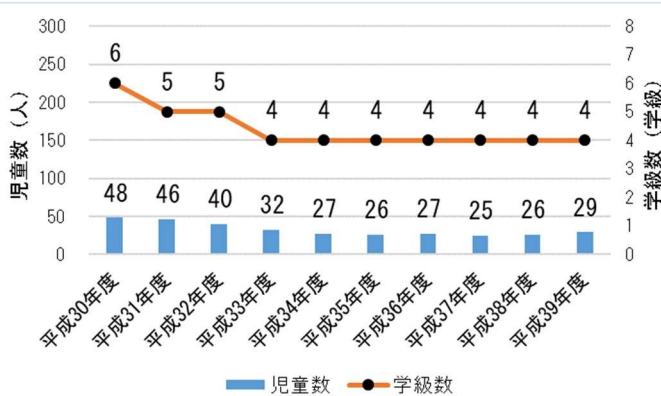
上大津西小学校からの直線距離	—	約2.6 km	約3 km	約2 km
----------------	---	---------	-------	-------

※1：多目的室の改修を要します。

※裏面にも記載がございます

4 上大津地区小学校の児童生徒数及び学級数予測（通常学級）

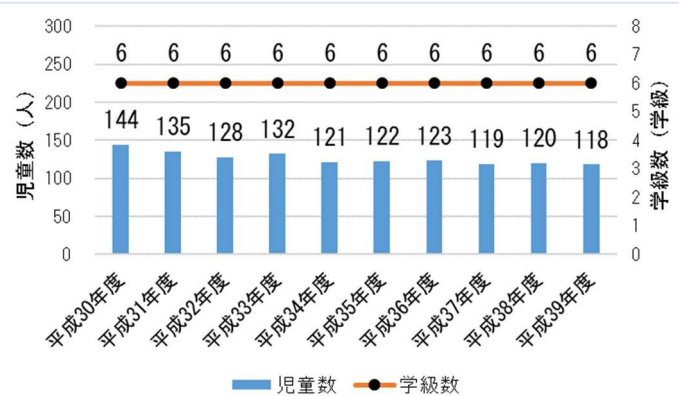
上大津西小学校



<考察>

平成30年度時点では、通常学級の児童数が48人で学級数が6学級（各学年1学級）となっていますが、今後の将来予測では、児童数が30人を割り込む見込みであり、平成31年度には複式学級が1学級、平成33年度以降は複式学級が2学級設置されることが予想されます。

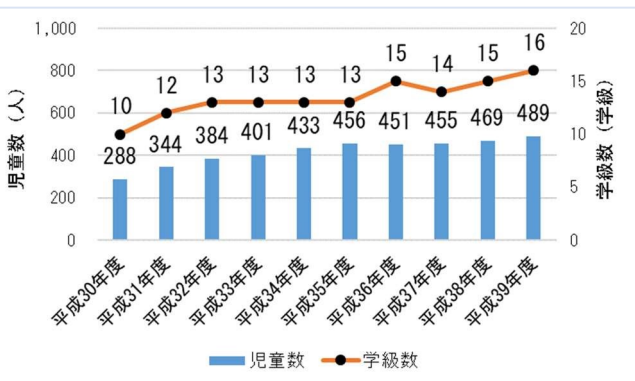
菅谷小学校



<考察>

平成30年度時点では、通常学級の児童数が144人で学級数が6学級（各学年1学級）となっていますが、今後の将来予測では、児童数が120人前後の横ばいの状況で推移し、各学年1学級の状態が続くことが予想されます。

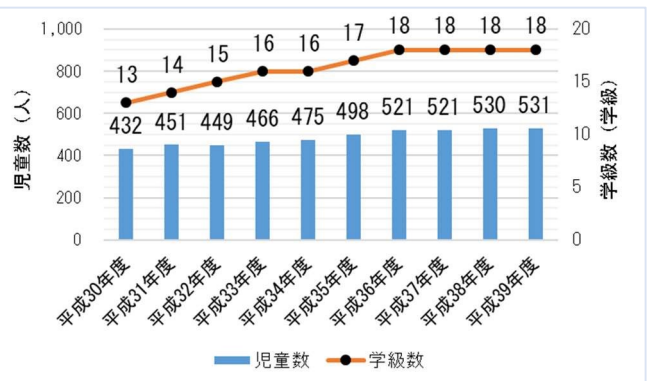
上大津東小学校



<考察>

平成30年度時点では、通常学級の児童数が288人で学級数が10学級となっていますが、今後の将来予測では、地域の開発や住宅地造成などにより児童数の増加と、それに伴う学級数の増加が見込まれており、その状況が続くと平成36年度には学校施設の許容能力が限界になることが予想されます。

神立小学校



<考察>

平成30年度時点では、通常学級の児童数が432人で学級数が13学級となっていますが、今後の将来予測では、児童数が530人程度まで増加することが見込まれており、引き続き市の基本方針に定めた適正規模を満たす学校であることが予想されます。

※1：平成31年度～36年度の新1年生は、平成30年4月1日現在の住民基本台帳により算出しています。

※2：平成37年度以降の新1年生は、平成30年度から当該年度の前年度までの新1年生児童数の平均値により算出しています。

※3：おおつ野地区の児童生徒は、平成26年～平成29年のこの地区の人口推移より、各学年毎年3人ずつ増加すると想定して算出しています。

上大津西小学校の暫定的な対応に関するアンケート

<記入上のご注意>

1. 回答は、平成30年9月1日現在の状況についてご記入ください。
2. 回答は、特に指定がなければ、1問につき1つだけ○で囲み選択、又は文字をご記入ください。
3. 回答ができない設問は無回答とし、次の設問へお進みください。
4. 回答は全て統計的に処理し、本調査の目的以外で使用することはございません。
5. ご記入いただいた調査票は、10月5日（金）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
6. このアンケート調査についてのお問い合わせ先
土浦市教育委員会 学務課 学事係 TEL029-826-1111（内線5112）

■あなたの住所、氏名、年齢をご記入ください。

住所			
氏名		年齢	歳

あなたのご家族のことについてお尋ねします。

問1 あなたと同居しているご家族の中に、中学生以下のお子様はいますか。

- ア. いる ⇒ 問2へお進みください
 イ. いない ⇒ 問3へお進みください（次ページ）

問2 お子様の年齢は次のどの区分に該当しますか。また、何人いますか。

（例）小学校1年生、4年生、6年生がそれぞれ1人いる場合

⇒イ. 小学校低学年の欄に「1人」、ウ. 小学校高学年の欄に「2人」と記入

	ア. 未就学児 (小学校入学前の乳幼児)	イ. 小学校低学年 (1～3年生)	ウ. 小学校高学年 (4～6年生)	エ. 中学生
人数	人	人	人	人

⇒ 問3へお進みください（次ページ）

上大津西小学校の今後の方向性についてお尋ねします。

現在、本検討委員会では、平成36年度に上大津地区全体の適正配置（新体制スタート）を目指して協議、検討を進めておりますが、その協議の中で、上大津西小学校の複式学級（異なる2つの学年が1つの教室で同時に授業を行う）などの問題をできるだけ早期に解消するため、暫定的に上大津西小学校を菅谷小学校へ平成31年度末までに統合させるという案が出ております。

なお、暫定統合した上大津西小学校の児童については、スクールバスでの通学を予定しております。

この案についてのご意見をお聞かせください。

問3 上大津西小学校の複式学級などの問題をできるだけ早期に解消するため、菅谷小学校との暫定的な統合を実施した方がいいですか。最も当てはまるものを1つお選びください。

- ア. 実施した方が良い ⇒ **問4**へお進みください
イ. 他の小学校と暫定的に統合した方が良い ⇒ **問7**へお進みください（次ページ）
ウ. 実施しない方が良い ⇒ **問10**へお進みください（4ページ）

問4 **問3**において、「ア. 実施した方が良い」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため
イ. 人間関係に変化が生まれ、友達もたくさんできるため
ウ. 競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨することができるため
エ. 運動会や学習発表会などの学校行事において幅広い活動ができるため
オ. PTA活動等が円滑に運営できるため
カ. その他（_____）

⇒ **問5**へお進みください

問5 本検討委員会では、「平成31年度末までに統合」という案が出ておりますが、暫定的な統合の実施時期はいつ頃が良いと思いますか。最も良いと思う時期を1つお選びください。

- ア. 平成31年度末までに実施（平成32年4月から新体制スタート）
イ. 平成32年度末までに実施（平成33年4月から新体制スタート）
ウ. その他（_____）

⇒ **問6**へお進みください（次ページ）

問6 問5の回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため
- イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいので、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため
- ウ. 学校運営に係る取り決め等（P T A規約等）のすり合わせの期間を確保した方が良いため
- エ. 地域が主体となる閉校事業（記念誌や記念品作成等）の準備に要する期間を確保した方が良いため
- オ. その他（_____）

⇒ 問11へお進みください（次ページ）

問7 問3において、「イ. 他の小学校と暫定的に統合した方が良い」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため
- イ. クラス替えなどにより人間関係に変化が生まれ、友達もたくさんできるため
- ウ. 競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨することができるため
- エ. 運動会や学習発表会などの学校行事において幅広い活動ができるため
- オ. P T A活動等が円滑に運営できるため
- カ. その他（_____）

⇒ 問8へお進みください

問8 上大津西小学校の複式学級などの問題解消のための暫定的な統合について、どの小学校と実施すべきだと思いますか。最も当てはまるものを1つお選びください。
なお、上大津西小学校の児童を暫定的に他の小学校に統合する場合には、次のような課題点があります。

<各小学校に暫定的に統合した場合の課題点>

- 上大津東小学校 : 校舎及び校庭が手狭で、児童数の増加により校舎の増築等を要する。
- 神立小学校 : 通学区域が線路をまたぐため、登下校の際などの安全確保が難しい。

- ア. 上大津東小学校に統合する
- イ. 神立小学校に統合する
- ウ. その他（_____）

⇒ 問9へお進みください（次ページ）

問9 問8の回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 統合先の学校施設（学習環境や校庭の広さなど）が整っているため
- イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため
- ウ. 統合後の学習環境に急激な変化が生じないため
- エ. 従前からの友人や知人が多いため
- オ. 自宅から近く、登下校時などの安全が確保できるため
- カ. 学校間の調整がスムーズに行えるため
- キ. その他（_____）

⇒ 問11へお進みください

問10 問3において、「ウ. 実施しない方が良い」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 児童一人ひとりに目が行き届きにくくなり、きめ細やかな教育が受けられなくなるため
- イ. 児童一人ひとりの個別の活動機会の場が少なくなるため
- ウ. 運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕をもって利用できなくなるため
- エ. 母校がなくなること、また、地域に子供の姿が見えなくなることが寂しいため
- オ. 閉校後の防犯、防災対策等に不安があるため
- カ. 特に問題を感じておらず、現状のままで良いため
- キ. 早期に実施する必要はなく、上大津地区全体の適正配置の中で実施する方が良いため
- ク. その他（_____）

⇒ 問11へお進みください

問11 その他、上大津西小学校の暫定的な対応について、ご意見等があればお聞かせください。
（自由記述）

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。
こちらの調査票を同封の返信用封筒に入れ、10月5日（金）までにご投函ください。